



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2003.04.17

No 26 - 55

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5 - 11 - 4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

2003年4月4日～8日

ポルトガル領 Madeira で

第58回 IFALPA 年次総会開催される

第58回 IFALPA 年次総会が4月4日から4月8日までの間、ポルトガル自治領 Madeira 諸島の Funchal に於いて開催され、ALPA Japan から8名の代表と佐野 RVP NOP(北太平洋地域担当副会長、日航機長組合)が参加しました。

参加者は、現在 IFALPA 加盟の有効な加盟資格をもつ82協会中51協会の代表、ICAO やヨーロッパの行政機関、Boeing、Airbus などの航空機製造会社および中国からの特別オブザーバーで、これらの同伴者を合わせ合計約400名となりました。

開会式では、Madeira Regional President および運輸大臣の挨拶があり、航空界において、技術革新が困難を克服し、安全に寄与し、経済発展を可能にしてきたことを強調しました。

一方、IFALPA 会長 Ted Murphy は、ライト兄弟の初飛行から100年にあたり、人類が挑戦してきた困難へ立ち向かってきた歴史をふりかえりました。そして、現在、経済の後退、イラク戦争および SARS 等の航空産業への脅威に対しても、決して飛行機を開発した事より困難ではないと認識し、解決への方策を IFALPA として他の国際機関と協調し、模索を続ける事を訴えました。

今回中国から始めてオブザーバーが参加し紹介されました。中国では現在、約8000人のメンバーの IFALPA 加盟と2003年秋到北京で AA セミナーを開催する事を実現させるため調整が続けられています。また、ALPA International(米国 ALPA)会長は、北アメリカにおける既存航空産業が受けている経済的脅威について講演しました。



年次総会では

IFALPA Policy 決算、予算等が採択されました

年次総会は、全体会議 (Plenary) および 4 つの合同委員会 (A/B, C, D, E Committee) で構成されており、その役割は IFALPA の 12 の委員会において、前回総会以降1年間討議された Policy やルールの変更、また決算の採択、決議の採択、及び役員の変更が主なものです。

開会式に続く総会前半の2日間は合同委員会で、各委員会から提案された Policy 案の最終確認が行われ、必要に応じて微調整されます。その後、3 日目の全体会議に議題として提案され、採択されると正式に IFALPA Policy となるわけです。中には、合同委員会において内容が不十分ということで委員会に差し戻され、さらに 1 年間議論するように指示されるものもあります。合同委員会における議論および採択された Policy の詳細については別途報告いたします。

総会前日には Airbus 社主催のウエルカムパーティー、1 日目には、Madeira 政府主催の Presidential Dinner、2 日目には、Boeing 社主催の GALA Dinner が行われました。Dinner 開始に先立ち IFALPA の表彰式が行われ、IFALPA 活動に貢献のあった方々が表彰を受けました。また、参加者より寄付を募り、* Japan ALPA Scholarship Fund * に 2590 ユーロ (約 36 万円) が、充当されました。3 日目にはポルトガル ALPA 主催の民族フェスティバルが行われました。さらに、夜には交流会が 3 回行われ、これらの機会を通して情報交換および、6 月におこなわれる IFALPA Legal /AA/Industrial の合同 Committee Meeting および JAL706 便 IFALPA 決議の打ち合わせが行われました。

* Japan ALPA Scholarship Fund * とは？

1997 年 IFALPA 総会において日乗連が当時の ALPA-J と Japan ALPA を構成し、IFALPA に加盟することになりました。この時、追加的に支払われた日乗連分の IFALPA 会費が、IFALPA の新しい Fund のために使用される事になりました。Accredited Accident Investigator の養成等に費用をだせない協会への支援に使われています。

JAL706 便裁判闘争に対して各国から支援の声が

総会 2 日目に Asia/Pacific Regional Meeting が開催され、ALPA Japan からは JAL706 便のビデオ(日航機長組合作成)を上映し、状況の正しい認識を訴えました。参加者から IFALPA 決議に際して、出席している各国の Chief Delegate のサインを添付してはどうかという強い支持をうけるとともに、ビデオの質

の高さを賞賛する声が多数あり高い関心を呼びました。ビデオのコピーが足りなくなりあとで送る約束をしてきました。また同時に JAL706 便ステッカーも各国に約 2000 枚持って帰ってもらいました。

総会 3 日目の全体会議の後、午後からのセミナーでは、航空産業をとりまく深刻な経済情勢を始めとした分析、および各地域における労働情勢の Update が行われました。また、総会開始前日の IFALPA Alliance Meeting では、同様な分析と各 Alliance における労働情勢の Update を行い、Alliance 間の情報交換を行うことこそが IFALPA Alliance Meeting の重要な役割だと確認されました。

総会最終日 4 日目には、JAL706 便裁判に関する IFALPA 決議が全会一致で採択されました。決議文はあらためてニュースで紹介します。

**安藤日乗連議長代行(日航機長組合)が
IFALPA 本部役員副会長(Principal Officer; PO)に選出される。
今後、ALPA Japan の世界的な役割がますます重要に!**



IFALPA 役員の改選が行われ、Principal Officer(PO:本部役員)として IFALPA 会長には ALPA International(米国 ALPA)の Dennis Dolan、IFALPA 副会長(地域問題および会員資格担当)には安藤真之機長(ALPA Japan 議長代行、日航機長組合)が選任されました。また、佐野公一機長(日航機長組合)が地域担当副会長(RVP NO:北大平洋地域担当)に再任されました。また、ALPA Japan は長年の日本への力強い支援に感謝して、今回引退する前会長 Ted Murphy に記念品を送りました。

今回、安藤議長代行が IFALPA の PO に選任されたことは、世界中の乗員が IFALPA に結集する上において、ALPA Japan への期待とその役割がますます大きくなったことを示しています。

IFALPA 新会長 Dennis Dolan および、安藤新副会長の就任挨拶では、『911、イラク戦争、SARSと予測不能の事態が発生していく中、航空産業はますます危機的な状態となってきた。これに対応して、IFALPA はパイロットの唯一の世界組織として、結束協調し、積極的にパイロットの視点を主張する事で、将来の問題解決に向け、方策を模索していくための役割をはたさねばならない。』ことが強調されています。

今年6月9日から東京で、Legal/Accident Analysis/Industrial の三者合同 Committee Meeting が開催されます。ALPA Japan は、この Meeting を成功させることが、地元協会の懸案事項を改善する事と IFALPA の主張を実現させていく過程で大変重要であると認識しています。地元協会の役割として、すべての ALPA Japan 会員が協力していく必要がありますので、各組合を通して IFALPA 活動に参加していただくようお願いいたします。

2004年の第59回総会はシドニー、また再来年60回総会は南アフリカで開催されます。